

第6次延岡市長期総合計画



後期基本計画（案）



概要版

第6次延岡市長期総合計画 後期基本計画について

本市は、平成28年3月に、向こう10年間のまちづくりのグランドデザインとして第6次延岡市長期総合計画を策定し、その下で平成28年度から令和2年度の5年間を計画期間とする前期基本計画に基づき、各種施策を展開してきましたが、令和2年度をもって前期基本計画が終了することから、今回、令和3年度を始期とする後期基本計画を策定しました。

後期基本計画では、前期基本計画における取組の積み重ねの上に立ちつつも、荒ぶりを増す自然災害やコロナ禍での「新しい生活様式」、デジタル化の進展などの本市を取り巻く社会・経済の大きな変化を踏まえ、且つそれを的確に捉えて本市の発展につなげていくため、これまで以上にまちづくりの原点に立ち返りながら、大胆な変革の実現を目指します。

また、長期総合計画の中で、特に人口減少問題や地方創生の観点から重点的施策をとりまとめた総合戦略について、第1期総合戦略が令和2年度をもって終了することから、「第6次長期総合計画 後期基本計画」と「第2期総合戦略」を一体的に策定し、整合性を図ります。

計画期間／基本構想・・・平成28年度～令和7年度

後期基本計画・・・令和3年度～令和7年度

第2期総合戦略・・・令和3年度～令和7年度

都市像

「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」

1. 市民力

これまで以上に「一人ひとりが主役」の時代を進め、市民力のさらなる展開を図ります。

2. 地域力

持続可能な地域づくりと地域間の連携強化、地域力のさらなる展開を図ります。

3. 都市力

一人ひとりが輝くための都市力を高めていきます。

キャッチフレーズ

「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」という新たな都市像を踏まえた、まちづくりのキャッチフレーズを募集しています。

《募集期間》 令和3年1月14日（木）～1月29日（金）

6つの基本目標	基本目標ごとの取組
<p>【第1部】 延岡の特色を活かした 交流連携のまちづくり</p>	<p>「東九州のクロスポイント」としての拠点都市づくり 高速道路の整備 鉄道・バス等（広域的な移動手段）の整備 交流連携のまちづくり 大学を活かしたまちづくり アスリートタウンの再構築 歴史・文化を学び育むまちづくり 移住の促進・関係人口の創出</p>
<p>【第2部】 未来を切り拓く活力ある 産業づくり</p>	<p>農業の振興 林業の振興 水産業の振興 商業の振興 観光産業の振興 工業の振興 企業立地の推進 ICT産業の集積促進等 人材政策の推進 創業支援や新たな産業の創出等</p>
<p>【第3部】 安心・安全な暮らしを支える 地域づくり</p>	<p>地域コミュニティ みんなで決めて、みんなで逃げる住民主体の防災 消防 安心・安全な暮らしづくり 子どもを産み育てたいと思えるまちづくり 高齢福祉・介護 障がいと共に暮らせる社会づくり 健康長寿と医療 生活を支える制度 公共交通（日常的な移動手段の確保）</p>
<p>【第4部】 一人ひとりを大切に育む 人づくり</p>	<p>一人ひとりの個性や能力を大切に育む教育 青少年の人間力育成 全ての世代の向上心を大切にする生涯学習・社会教育 豊かな心あふれる文化都市づくり スポーツ・レクリエーションのさらなる推進 男女共同参画社会づくり すべての市民の人権が尊重されるまちづくり</p>
<p>【第5部】 ぬくもりと躍動感が感じられ る都市環境づくり</p>	<p>環境保全 廃棄物対策 生活衛生 持続可能な土地利用 市街地整備 道路 住宅 市民と育む公園緑地 自然・歴史・産業が織りなす景観づくり 水道 下水道 河川・港湾・海岸 それぞれの地域の特色を活かした中山間地域対策</p>
<p>【第6部】 多様な人材が参画する 市民が主役のまちづくり</p>	<p>市民が主役のまちづくり 「対話の市政」の基盤となる広報・広聴・情報公開の充実 地域の実情に合った「スマートシティ」の構築 効果的で効率的な行政経営 使命感を持って市民と向き合う市役所を目指して</p>

長期総合計画と総合戦略の関係

後期基本計画における基本目標ごとの取組と第2期総合戦略の4つのプロジェクトとの関係性は、下表のとおりです。

6つの基本目標	基本目標ごとの取組	プロジェクト1									
		方向1-1		方向1-2		方向1-3			方向1-4		方向1-5
		施策1	施策1	施策1	施策2	施策3	施策4	施策1	施策1		
		企業の新分野への進出拡大と中小	企業誘致の促進	の農業所得アップに向けた取組	通木の促進	けた取組の推進	育成・確保	新時代のビジネスにチャレン	滞在型観光の長い体験型観光・		
の延まらちづくり	第1章 「東九州のクロスポイント」としての拠点都市づくり		●							●	
	第2章 高速道路の整備										
	第3章 鉄道・バス等(広域的な移動手段)の整備										
	第4章 交流連携のまちづくり										
	第5章 大学を活かしたまちづくり										
	第6章 アスリートタウンの再構築										
	第7章 歴史・文化を学び育むまちづくり										
	第8章 移住の促進・関係人口の創出										
	未来を切り拓く活力ある産業づくり	第1章 農業の振興			●				●		
		第2章 林業の振興				●					
第3章 水産業の振興							●				
第4章 商業の振興											
第5章 観光産業の振興										●	
第6章 工業の振興											
第7章 企業立地の推進			●								
第8章 IT産業の集積促進等			●								
第9章 人材政策の推進			●								
第10章 創業支援や新たな産業の創出等				●						●	
域安心・安全な暮らしを支える地	第1章 地域コミュニティ										
	第2章 みんなで決めて、みんなで逃げる住民主体の防災										
	第3章 消防										
	第4章 安心・安全な暮らしづくり										
	第5章 子どもを産み育てたいと思えるまちづくり										
	第6章 高齢福祉・介護										
	第7章 障がいと共に暮らせる社会づくり										
	第8章 健康長寿と医療										
	第9章 生活を支える制度										
	第10章 公共交通(日常的な移動手段の確保)										
くーりひとりを大切に育む人づ	第1章 一人ひとりの個性や能力を大切に育む教育										
	第2章 青少年の人間力育成										
	第3章 全ての世代の向上心を大切にする生涯学習・社会教育										
	第4章 豊かな心あふれる文化都市づくり										
	第5章 スポーツ・レクリエーションのさらなる推進										
	第6章 男女共同参画社会づくり										
	第7章 すべての市民の人権が尊重されるまちづくり										
りぬくもりと躍動感が感じられる都市環境づく	第1章 環境保全										
	第2章 廃棄物対策										
	第3章 生活衛生										
	第4章 持続可能な土地利用										
	第5章 市街地整備										
	第6章 道路										
	第7章 住宅										
	第8章 市民と育む公園緑地										
	第9章 自然・歴史・産業が織りなす景観づくり										
	第10章 水道										
	第11章 下水道										
	第12章 河川・港湾・海岸										
	第13章 それぞれの地域の特色を活かした中山間地域対策										
ます多様な市民材が主役の	第1章 市民が主役のまちづくり										
	第2章 「対話の市政」の基盤となる広報・広聴・情報公開の充実										
	第3章 地域の実情に合った「スマートシティ」の構築										
	第4章 効果的で効率的な行政経営										
	第5章 使命感を持って市民と向き合う市役所を目指して										

後期基本計画とSDGsの17のゴールの相関関係

後期基本計画における基本目標ごとの取組とSDGsの17のゴールの関係性は、下表のとおりです。

6つの基本目標	基本目標ごとの取組	SDGs																
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 福をすべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を現実しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 つくみ続けられるまちづくりを	12 責任ある消費・生産をつくる責任・つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
リニアの特色を活かした交通連携のまちづくり	第1章 「東九州のクロスポイント」としての拠点都市づくり								●		●							
	第2章 高速道路の整備								●		●							
	第3章 鉄道・バス等(広域的な移動手段)の整備										●							
	第4章 交流連携のまちづくり										●							●
	第5章 大学を活かしたまちづくり			●						●		●						●
	第6章 アスリートタウンの再構築											●						●
	第7章 歴史・文化を学び育むまちづくり				●							●						
	第8章 移住の促進・関係人口の創出																	●
未来を切り拓く活力ある産業づくり	第1章 農業の振興		●						●	●		●						
	第2章 林業の振興		●						●	●		●				●		
	第3章 水産業の振興		●						●	●		●			●			
	第4章 商業の振興								●	●		●						
	第5章 観光産業の振興								●	●		●						
	第6章 工業の振興								●	●		●						
	第7章 企業立地の推進								●	●		●						
	第8章 IT産業の集積促進等								●	●		●						
	第9章 人材政策の推進				●	●			●	●		●						
	第10章 創業支援や新たな産業の創出等								●	●		●						
安心・安全な暮らしを支える地域づくり	第1章 地域コミュニティ	●		●	●						●		●					●
	第2章 みんなで決めて、みんなで逃げる住民主体の防災	●									●		●					
	第3章 消防										●							
	第4章 安心・安全な暮らしづくり			●								●					●	
	第5章 子どもを産み育てたいと思えるまちづくり	●		●		●			●		●							●
	第6章 高齢福祉・介護			●														●
	第7章 障がいと共に暮らせる社会づくり			●					●									
	第8章 健康長寿と医療	●		●								●		●				
	第9章 生活を支える制度	●		●					●		●							
	第10章 公共交通(日常的な移動手段)の確保											●						
人ひとりの個性や能力を大切に育む教育	第1章 一人ひとりの個性や能力を大切に育む教育		●		●	●		●										●
	第2章 青少年の人間力育成				●													●
	第3章 全ての世代の向上心を大切にする生涯学習・社会教育				●													●
	第4章 豊かな心あふれる文化都市づくり				●							●						●
	第5章 スポーツ・レクリエーションのさらなる推進			●								●						●
	第6章 男女共同参画社会づくり			●		●			●		●							●
	第7章 すべての市民の人権が尊重されるまちづくり				●	●					●							●
ぬくもりと躍動感が感じられる都市環境づくり	第1章 環境保全										●	●	●	●	●			
	第2章 廃棄物対策										●	●			●			
	第3章 生活衛生			●								●						
	第4章 持続可能な土地利用								●		●				●			
	第5章 市街地整備										●							●
	第6章 道路								●		●							
	第7章 住宅	●									●							
	第8章 市民と育む公園緑地								●		●							●
	第9章 自然・歴史・産業が織りなす景観づくり											●						●
	第10章 水道			●				●				●						
	第11章 下水道						●					●		●				
	第12章 河川・港湾・海岸								●		●			●				
	第13章 それぞれの地域の特色を活かした中山間地域対策								●		●							●
が多種多様な人材が活躍する市民	第1章 市民が主役のまちづくり										●							●
	第2章 「対話の市政」の基盤となる広報・広聴・情報公開の充実																●	●
	第3章 地域の実情に合った「スマートシティ」の構築								●									●
	第4章 効果的で効率的な行政経営								●		●							●
	第5章 使命感を持って市民と向き合う市役所を目指して								●									●

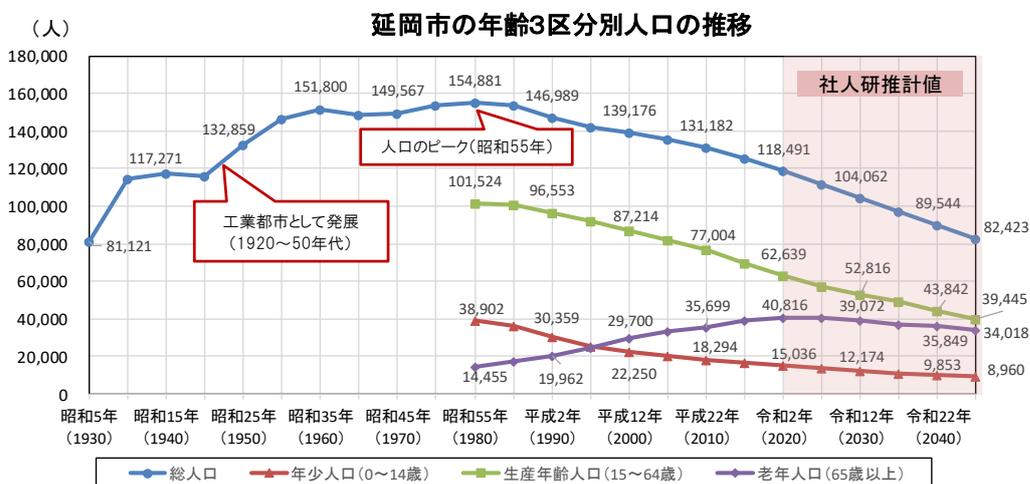
将来人口

本市は、1920年頃より工場の立地が相次ぎ、第二次世界大戦後にかけて県下有数の工業都市として発展しました。人口も昭和55（1980）年には154,881人と増加のピークを迎えました（図1）。

しかし、その後は減少に転じ、平成27年（2015）年までの35年間で約30,000人（19.2%）の減少となっています。

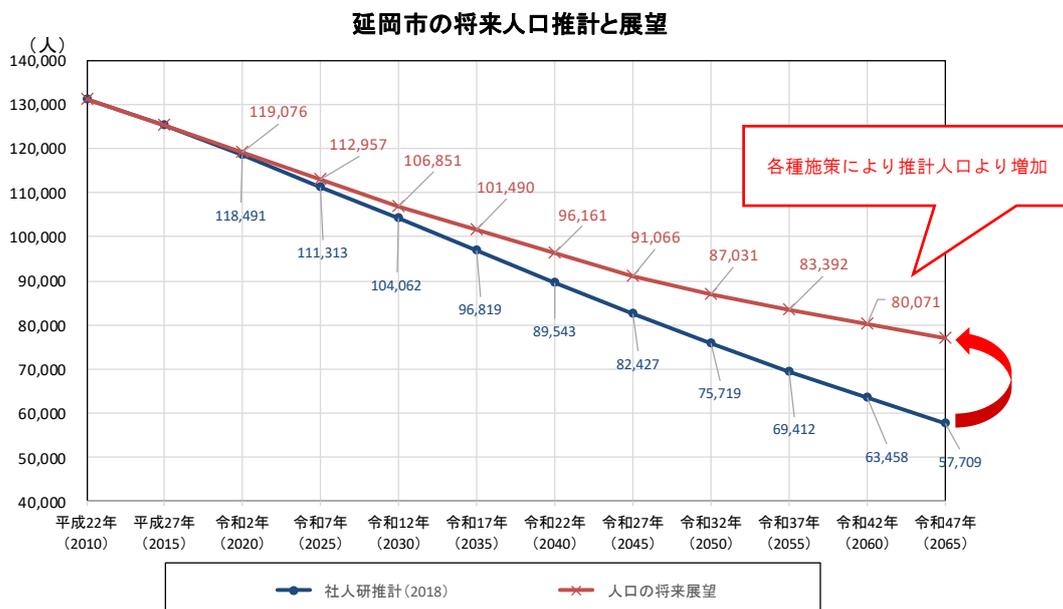
国立社会保障・人口問題研究所準拠推計によると、本計画期間の終了時点である令和7（2025）年の本市の総人口は111,313人にまで減少すると推計されています（図2）が、最近の25歳～39歳の人口増の動き（図3、図4）や県全体の合計特殊出生率の目標などを反映させ、また本計画の都市像である「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」を目指した取組とともに、第2期延岡新時代創生総合戦略における、人口維持のための各種の取組を行うことにより、令和7（2025）年における人口推計を112,957人として、将来的に、令和42（2060）年には約8万人を維持・確保することを目指します。

（図1）



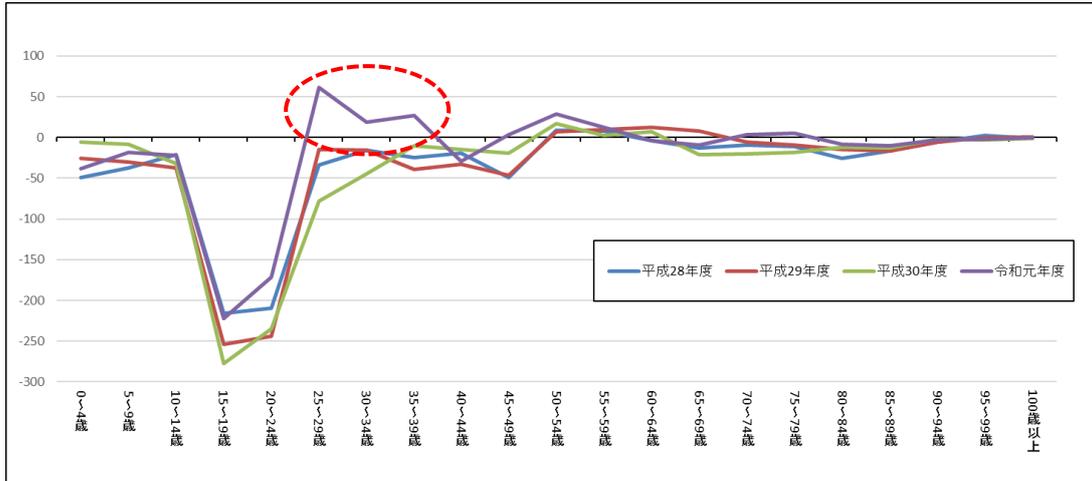
資料：平成27（2015）年までは国勢調査、令和2（2020）年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

（図2）



(図3)

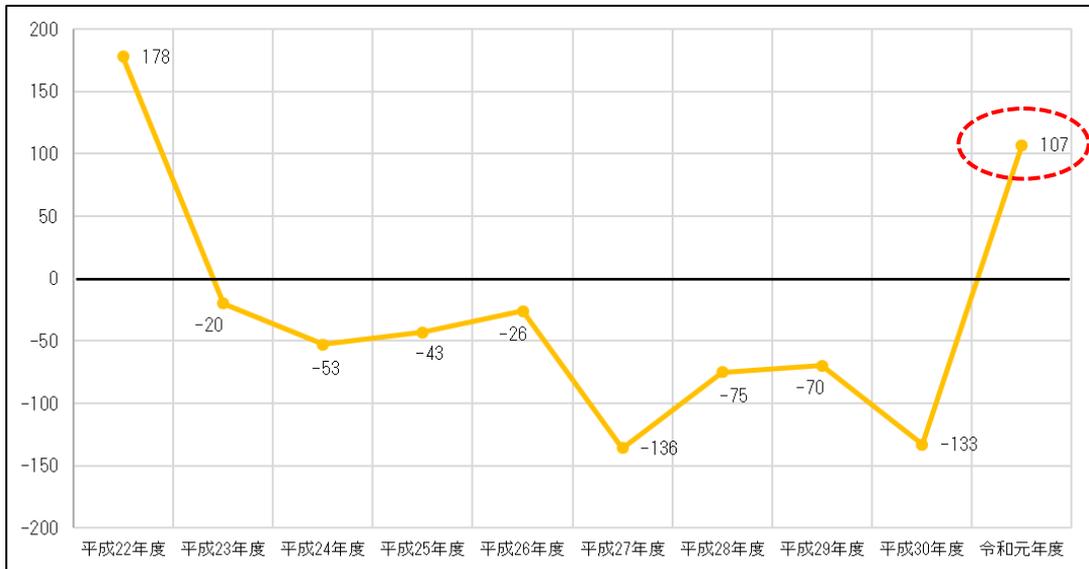
5歳階級別 現住人口社会動態推移



令和元年度(H31.4~R2.3)において、25~39歳で転入超過となり、15~24歳についても転出が抑制されている。

(図4)

延岡市の社会動態推移 (25~39歳)



25~39歳の社会動態は、平成22年度以来9年度ぶりの転入超過となった。

基本目標ごとの主要な指標と総合戦略KPI

6つの基本目標

1

「延岡の特色を活かした交流連携のまちづくり」

本市は、高速道路の結節点であることの優位性を活かし、人・物・情報等の更なる交流・連携を図りながら、東九州の拠点都市として地域経済の活性化に貢献することが求められています。

そのため、地域産業や広域観光の促進、高速道路のネットワーク化や鉄道・バス等（広域的な移動手段）の整備、広域連携の強化、姉妹都市等との都市間交流や国際交流に努め、交流人口の拡大を図ります。また、大学を活かした産学官連携による新産業の創出や、本市の特性であるアスリートタウンづくりの推進、歴史・文化的施設の整備による文化活動の活性化、移住促進や関係人口の創出に向けた新たな取組など、交流連携のまちづくりを積極的に推進します。

主要な指標

内容	策定時	現状	R7
九州中央自動車道の進捗率	16%	30%	43%
東九州自動車道(延岡南 IC~清武南 IC)の全線平均交通量	6,747 台/日	7,961 台/日	9,400 台/日
鉄道の利用者数（延岡駅・南延岡駅の年間乗車数）	1,482,424 人	1,499,000 人	1,499,000
バスの利用者数（路線バス、まちなか循環バス、コミュニティバスの年間乗車数）	999,685 人	782,000 人	821,000 人
広域で取り組んでいる事業数	21	42	50
国際交流員による各種講座やイベントの参加者	1,159 人	15,016 人	16,000 人
市内で働く外国人材地域交流促進事業の参加者数	—	—	115 人
学会等への参加者（累計）	20,756 人	24,361 人	28,000 人
九州保健福祉大学卒業生の市内就職者数	20 人	18 人	30 人
大会への市外住民の参加者数	4,573 人	4,466 人	5,500 人
歴史講座等の参加者数	—	2,900 人	3,500 人

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
延岡南道路 1日平均交通量	12,004 台/日	14,000 台/日
新たな産業団地の整備	—	分譲面積約 10ha
主要観光施設利用者数	114.1 万人/年	136 万人/年
主要宿泊施設宿泊者数（内外国人宿泊者数）	約 25.7 万人/年（4,216 人/年）	31 万人/年（5,100 人/年）
民泊者数	298 泊/年	360 泊/年
新たな広域連携の枠組み	計 4 件	計 10 件
地元企業への就職に繋がった人数（新卒採用）	5 年間で 90 人	5 年間で 125 人
のべおか市民大学院の受講者数	累計 986 人	累計 1,300 人
市外からの合宿延べ宿泊人数	5,007 人/年	6,000 人/年
城山公園利用者数	58,855 人/年	67,000 人/年
内藤記念館利用者数	846 人/年	50,000 人/年
野口遵記念館利用率(ホール)	(再整備中)	60%/年
移住者向けのホームページへのアクセス数	4 年間に 55,854 件	5 年間に 60,000 件

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
移住の相談件数	5年間に559件	5年間に700件
移住世帯数	5年間に160世帯	5年間に200世帯
移住者向け住宅支援の助成戸数	4年間に79戸	5年間に150戸
地元企業のインターンシップ参加者数	-	5年間に150人
西口再開発ビルコワーキングスペース利用者数	-	5年間に9,000人
クラウドファンディングコンテスト申込者数	5人(団体)/年	15人(団体)/年

6つの基本目標

2

「未来を切り拓く活力ある産業づくり」

活力ある産業づくりを推進し、本市の未来を切り拓いていくため、農林水産業の分野では、所得アップと成長産業化を目指し、売れるものづくりの推進や販路の拡大と開拓により、もうかる農林水産業の実現に努めます。また、IT技術の導入や多様な担い手の育成・確保を図りながら、経営感覚を持った経営体づくりを推進するとともに、農林水産資源の保全と継承、有害鳥獣や鳥インフルエンザ等の危機事象への対応にも取り組みます。

また、自然、神話・歴史、食等の観光資源を有する本市の特性を踏まえ、高速道路の開通効果を最大限に活かした誘客促進を図るとともに、ものづくり企業や医療機器産業の集積等の強みを活かしながら、新分野挑戦や事業拡大、事業承継、創業・起業等へのチャレンジを支援することで、活力ある産業構造の構築を促進します。

一方、工業の分野では、企業のデジタル化をはじめ、成長戦略の支援や産学官金連携を促進するとともに、新たな産業団地の整備や企業の立地や人材政策を推進します。

主要な指標

内容	策定時	現状	R7
農業所得(申告ベース)10%アップ	-	62,000円	75,000円
肉用繁殖雌牛母牛頭数	1,852頭	1,728頭	1,800頭
農地中間管理事業による集積農地面積	1.2ha	118.2ha	370ha
新規就業者数	-	17人	41人
間伐・除伐面積(累計)	年間352ha	1,871ha	3,881ha
小売吸引力指数	0.91	0.90	1.01
卸小売業の年間販売額	1,716億円	2,016億円	1,829億円
中心市街地商店街空き店舗率	31.8%	21.9%	13.5%
道の駅利用者数	515,612人	787,078人	945,000人
製造品出荷額等	3,004億円	3,222億円	3,447億円
IT関連セミナー・講演の開催数	-	-	5年間で157回
市内高校卒業生の県内就職率	50.75%	61.41%	70%
六次産業化・地産地消法に基づく認定件数	4件	7件	12件

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
園芸用ハウスの設置件数	5年間に6件	5年間に20件
圃場数	6圃場/年	5年間に210圃場
子牛出荷頭数	1,201頭/年	1,300頭/年
農地の集積・集約化	5年間に117ha	5年間に250ha増加
ICT等を活用した機器等導入に係る補助件数	1件/年	5年間に15件
ふるさと納税返礼品の新規登録数	103品/年	5年間に300品
ECサイト登録商品数	—	5年間に100品
55歳未満の新規就農者数	7人/年	5年間で30人
農山漁村版ハローワークを活用した就業者数(短期雇用含む)	—	5年間に1,800人
市の6次化事業で支援するのべおか産材を使った新たな商品数	—	5年間に15品
林道の開設延長	累計484km	累計492km
漁業経営体の1経営体あたりの生産力	33百万円/年	40百万円/年
水産物の商品化・ブランド化数	累計12種類	累計17種類
駅まちエリアにおける通行量	2,650人/日	3,400人/日
駅まちエリア等新規出店数	—	5年間に20店
西口再開発ビルコワーキングスペース利用者数【再掲】	—	5年間に9,000人
シェアサイクル利用者数	—	2,700人/年
主要観光施設利用者数【再掲】	114.1万人/年	136万人/年
主要宿泊施設宿泊者数(内外国人宿泊者数)【再掲】	約25.7万人/年(4,216人/年)	31万人/年(5,100人/年)
民泊者数【再掲】	298泊/年	360泊/年
新技術等の取り組み・生産性の向上等の取り組み案件	5年間に150件	5年間に150件
新たな販路の開拓や新規の商談等が進んでいる件数	5年間に253件	5年間に275件
医療関連機器の製品化件数	1件/年	5年間に10件
指定工場等の指定件数	累計175件	6件/年
IT関連企業の誘致数	1社/年	5年間に10社
新たな産業団地の整備【再掲】	—	分譲面積10ha
「STEMワークショップ」・「イングリッシュキャンプ」・「夢の教室」等の機構関連のワークショップ等の参加者数	217人/年(R1)	5年間で1,500人
地元企業への就職に繋がった人数【再掲】	5年間に459人	5年間に500人
地元企業への就職に繋がった人数(新卒採用)	5年間に90人	5年間に125人
卒業生実家住所のデータベース件数	4年間に1,142件	5年間に2,000件
地元企業のインターンシップ参加者数【再掲】	—	5年間に150人
よのなか教室実施回数	59回/年	5年間に300回
地元企業と副業・兼業人材等のマッチング件数	—	5年間に75件
薬用作物等栽培面積	20a/年	5年間に1ha
新規創業者数	5年間に270人	5年間に350人

6つの基本目標

3

「安心・安全な暮らしを支える地域づくり」

少子高齢化、核家族化や人口減少、ライフスタイルの変化、価値観の多様化が進み、本来持っていた地域や家庭の相互扶助の機能が低下し、地域の絆を維持することが難しくなっています。

そのような中、住み慣れた地域で安心して生活できる環境を維持するためには、市民一人ひとりが防災や地域福祉などの諸課題に強い関心を持ち、これらに的確に対応できる体制をつくる必要があります。

そのため、地域コミュニティ意識の醸成や様々な地域活動を通じて、住民同士の絆を維持し、関係者が情報を共有し連携して対応できるよう、社会情勢に適応した地域コミュニティの再構築に取り組みます。

そして、この地域コミュニティを基盤として、地域住民のすべての世代が安心して安全な、日々の生活を送れる地域づくりに取り組みます。

主要な指標			
内容	策定時	現状	R7
自治会加入率	74.9%	72.0%	77.0%
地域コミュニティ活動の推進・コミュニティ施設の整備・充実に満足している市民の割合（市民意識調査）	67.7%	66.6%	70.0%
地域福祉推進チーム	230 チーム	223 チーム	234 チーム
自宅の家具固定等（実施割合）	10%	11%	20%
非常持ち出し品の準備（実施割合）	24%	26%	50%
消防団員の充足率（団員数/条例定数）	89.0%	82.2%	90.0%
住宅用火災警報器（設置率）	60.4%	84.0%	90.0%
救急救命士資格取得者数（累計）	33 人	38 人	45 人
救急車が現場に到着するまでの時間（分）	10.4 分	10.3 分	9.5 分
高齢者交通安全教室（回数・人数）	63 回・2,253 人	25 回・761 人	40 回・1,200 人
地域安全見守り活動団体人数	378 人	363 人	370 人
出前講座受講者数	679 人	244 人	300 人
ファミリー・サポート・センターの援助活動件数	1,544 件	1,576 件	2,700 件
子育てサポーター訪問活動件数	1,486 件	3,231 件	3,500 件
地域子育て支援拠点施設の利用者数	34,425 人	31,596 人	50,000 人
介護保険サービス利用者数	6,482 人	7,343 人	7,855 人
認知症サポーター数	6,022 人	15,211 人	23,000 人
認知症保険加入者数	—	120 人	450 人
100 歳体操会場数	3 か所	200 か所	250 か所
児童通所施設数	5 か所	18 か所	20 か所
グループホーム入居定員数	107 人	180 人	220 人
障がい福祉サービス提供法人数	28 法人	35 法人	40 法人
健康に気をつけて行動している人の割合	75.5%	75.5%	80.0%
県立延岡病院の夜間・休日救急患者数（軽症）	2,838 人	2,249 人	2,250 人
特定健診の受診率	32.5%	40.5%	43.3%
特定保健指導の実施率	42.6%	47.8%	51.4%
国民年金保険料納付率	56.1%	67.8%	73.0%
路線バス、まちなか循環バスの利用者数	—	769,000 人	806,000 人
市民が主体となって運行する移動手段数	—	2 団体	6 団体
乗り場環境の改善数	—	2 ヶ所	18 ヶ所以上

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
自主防災組織数	278 組織	295 組織
避難訓練回数	78 回/年	100 回/年
LINE 登録者数	—	17,000 人
防災アプリ登録者数	—	17,000 人
災害情報メール登録者数	8,715 人	17,000 人

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
防災ラジオ所有者数	—	1,000 人
なんでも総合相談センター相談件数	762 件	5 年間に 12,000 件
子育て支援総合拠点施設の施設利用者数	—	累計 30,000 人
相談窓口の設置件数	14 か所	15 か所
子どもの医療費助成利用件数	130,000 件／年	193,000 件／年
放課後児童クラブの設置ヵ所数	18 か所	20 か所
保育所、認定こども園、幼稚園の定員数	4,410 人	4,500 人
市内保育士養成校での保育士免許取得者数	—	累計 100 人
病児・病後児保育の施設数	1 か所	4 か所
多子世帯数(18 歳未満の子どもが 3 人以上いる世帯)	2,111 世帯	2,100 世帯
イベント参加によるカップル成立数	—	5 年間に 150 組
みやざき結婚サポートセンター等への登録支援による成婚者数	—	5 年間に 50 組
のべおか健康マイレージ事業の参加者数	—	2,000 人／年
小児科医数	6 人	8 人
すくすくワクチン登録世帯数	3,095 件	6,000 件
コミュニティバス、スクールバス住民混乗、地域住民主導の移動手段の合計利用者数	12,726 人／年	15,000 人／年
データ分析等に基づくバス路線実証運行エリア	—	5 年間に 8 中学校区

6つの基本目標

4

「一人ひとりを大切に育む人づくり」

市民生活を取り巻く環境が大きく変化する中、年齢や性別などにかかわらず、誰もが個性と能力を発揮し、愛着と誇りを持って生き生きと暮らすことのできる地域社会が求められています。

この地域社会づくり、まちづくりの基本は人づくりにあります。

その根幹となる子どもの健やかな成長は、市民のすべての願いです。学校や家庭、地域社会がともに連携・協力し、一人ひとりの多様性を尊重し自尊感情の高いのべおかの未来を担う子どもが主役の人づくりを進めるとともに、若者の「自己信頼」を育むなど「人間力」の育成にも取り組んでいきます。併せて、ICTやAIを活用した個別最適化学習など一人ひとりに応じた教育を推進していきます。

文化やスポーツ、地域活動などを通して、生涯にわたって学び、互いに尊重し男女が共に参画しながら、生きがいのある地域社会づくりに主体的に活動できる人づくりを進めます。

さらに、先人たちが築いてきた歴史・文化等を継承しつつ、これからの延岡新時代にふさわしい魅力あるまちづくりに取り組む人づくりを進めます。

主要な指標

内容	策定時	現状	R7
講師派遣事業の実施回数（地元企業からの学び）	25 回	24 回	27 回
コミュニティ・スクール導入校数	0 校	モデル校 4 校	42 校
「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査結果）	—	小：80.4% 中：74.3%	小：83% 中：80%
学校安全ボランティア登録者（累計）	950 人	697 人	700 人

主要な指標

市民アンケートにおける「小・中学校教育の充実・教育環境の整備」の満足度	68.6%	—	70.0%
体験活動講座の参加者数	2,080 人/年	1,867 人/年	2,300 人/年
出前講座の受講者数	81,538 人/年	56,651 人/年	57,000 人/年
社会教育施設の利用者数	128,472 人/年	87,603 人/年	88,000 人/年
はらはらわくわくふるさと体験隊年間延参加者数	515 人/年	399 人/年	800 人/年
入館者数	407,685 人	314,853 人	350,000 人
蔵書数	432,525 冊	464,280 冊	508,000 冊
貸出冊数	398,179 冊	329,904 冊	370,000 冊
5月1か月間の一人あたりの平均読書冊数	小学生 14.2 冊 中学生 3.4 冊	小学生 14.7 冊 中学生 4.3 冊	小学生 16 冊 中学生 5 冊
「延岡市美術展覧会」出品点数	403 点	335 点	400 点
「延岡総合文化センター」利用率 (大・小ホールのいずれかを利用している率)	76%	76%	80%
「若山牧水青春短歌大賞」応募短歌数	26,030 首	18,678 首	25,000 首
内：市内小中高生応募短歌数	—	2,591 首	3,500 首
スポーツ教室延参加人数	2,239 人	1,791 人	2,400 人
健康教室延参加人数	—	1,458 人	1,650 人
各種審議会等の女性委員の割合 (地方自治法第 202 条の 3 に基づく審議会)	29.2%	30.1%	35.0%
市や延岡市人権啓発推進協議会等が行う人権研修、講座等に 参加した市民の数	3,259 人	3,627 人	3,800 人
延岡市人権啓発推進協議会の会員数	143 団体	163 団体	170 団体

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
ふるさと教育授業回数	72 回/年	80 回/年
「のべおかはげまし隊」の活動回数	13,148 回/年	14,000 回/年
「STEM ワークショップ」・「イングリッシュキャンプ」・ 「夢の教室」等の機構関連のワークショップ等の参加者数 【再掲】	217 人/年	5 年間で 1,500 人
生涯学習人財バンクの登録者数	80 人/年	100 人/年
スポーツ施設利用者数	473,116 人/年	600,000 人/年

6つの基本目標

5

「ぬくもりと躍動感が感じられる都市環境づくり」

本市は、東九州有数の工業都市であるとともに、豊かな水産資源を育てる海、奥深き雄大な山々、鮎を育む清らかな川など美しい自然に恵まれています。この地域の特性を活かして、災害に強い安全で住みやすいまちをつくるとともに、豊かな暮らしを営むことができるまちをつくる必要があります。

豊かな自然を守るため、地球温暖化防止などの環境保全を視野に入れて、ごみの減量化や資源化などにより環境にやさしい循環型社会の形成を図るとともに、ユネスコエコパークへの登録を契機とした取組等により絶滅危惧種をはじめ希少な動植物の生息地や自然環境の保全を図ります。

また、安全な暮らしを守るため、河川改修等による治水対策、道路網の整備による安全な避難路の確

保、安定したライフラインの構築や建築物の耐震化による生活基盤の確保など、都市整備の推進を図ります。

さらに、豊かな暮らしを実現するため、効率的な市街地の整備や上下水道の整備などにより快適な居住環境づくりを進めるとともに、都市機能の充実による利便性の向上や、地域が持つ歴史や文化などの特性を活かした美しい景観の形成に努めます。また、人口減少などの社会情勢を踏まえた持続可能な中山間地域づくりを推進し、恵まれた自然環境から得られる豊富な地域資源を活かした食や観光の振興等の取組を推進します。

主要な指標			
内容	策定時	現状	R7
浄化槽の設置補助数(累計)	3,812 件	3,932 件	4,138 件
生活排水処理率	84.2%	90.6%	92.7%
温室効果ガス排出量(延岡市の事務事業)	36,428 t-CO ₂	42,597 t-CO ₂	29,725 t-CO ₂
立番指導及び早朝パトロールの実施	10 回/年	33 回/年	33 回/年
出前講座(分別説明会含む)	12 回/年	13 回/年	26 回/年
ごみ搬入量(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)	44,660 t/年	42,789 t/年	37,043 t/年
狂犬病予防注射接種率	68.5%	78.3%	80.0%
地籍調査における要調査面積における進捗率※調査済面積には調査中を含む。	48.70%	52.71%	56.04%
空き家に付属した農地の指定(筆数)	—	5 筆	33 筆
岡富古川地区の移転戸数の割合	51%	80%	100%
岡富古川地区の整備面積の割合	29%	51%	100%
特定建築物の耐震化率	82.77%	89.06%	95%
認定長期優良住宅等の割合	14.4%	22.3%	25%
国道の改良率	97.1%	97.2%	97.3%
県道の改良率	45.2%	47.6%	50.0%
市道の改良率	68.3%	69.1%	70.9%
協働・共汗道づくり事業実施延長(H21 創設)	6,572m	10,277m	14,300m
修繕が必要な橋梁の着手率(区分Ⅰを除く)	—	7.1%	19.8%
「延岡市住み替え住宅バンク」登録者戸数	—	66 戸	130 戸
耐震性を有する住宅ストック(住宅の耐震化率)	73.78%	75.62%	90.0%
建て替える市営住宅の戸数の割合(一ヶ岡A団地)	73%	86%	100%
公園施設長寿命化事業 完了公園数(対象公園:90箇所)	0 箇所	21 箇所	90 箇所
公園緑地愛護会の団体数	94 団体	98 団体	100 団体
美しい宮崎づくり活動団体数	—	8	13
耐震化率(全管路)※H28 年度より旧簡易水道を統合したため現状以降は旧簡易水道を含む値	15.9%	26.6%	32.0%
汚水処理の人口普及率	80.4%	80.6%	82.6%
「河川の改修と環境の整備・保全」に満足している市民の割合(延岡市民まちづくりアンケート)	74%	75%	76%

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
城山公園利用者数【再掲】	58,855 人/年	67,000 人/年
エリア内の観光客数（鹿川地区、祝子川地区）	55,619 人/年	81,400 人/年
地域おこし協力隊の採用・定住推進	採用数 6 人 定住率 25%	新規採用 7 人 定住率 50%

6つの基本目標

6

「多様な人材が参画する市民が主役のまちづくり」

少子高齢化や人口減少が進行し、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化していくなかにおいて、健全な財政運営の維持と、持続可能な行政運営を目指し、さらなる効率化や運営体制の強化等を図ります。また、広報広聴活動の充実等による市民と行政の情報の共有化や、ICT 等の利活用によるスマートシティの構築、情熱と使命感を持った職員の育成等を図るとともに、市民のまちづくりの意識を醸成し、その活動を促進するなど、市民協働による「市民が主役のまちづくり」を推進し、さらなる市民サービスの向上に努めます。

主要な指標

内容	策定時	現状	R7
市民協働のまちづくりの推進に満足している市民の割合（市民意識調査）	76.2%	76.6%	80.0%
市民活動団体数	280 団体	314 団体	330 団体
市から発信される情報の内容に満足している市民の割合	79.4%	76.4%	86.0%
延岡市のホームページのアクセス数	3,001 件/日	3,031 件/日	4,546 件/日
公式 LINE、公式 Facebook への投稿件数	-	211 件/年	422 件/年
移動市役所、出前市長室の参加者数	-	381 人	610 人
光ファイバの利用可能世帯数の割合	91.4%	91.4%	100.0%
IT 関連セミナー・講演の開催数	-	-	5 年間に 157 回
官民連携の協定締結数（累計）	-	7	35
ふるさと納税寄附額	0.6 億円	3.6 億円	検討中
地域新電力会社から市への寄附額	-	-	検討中
職員数	1,196 人	1,136 人	未確定

【総合戦略 KPI】

内容	基準値(R1)	目標値(R7)
市民まちづくり活動支援事業採択件数	18 件	5 年間に 100 件
クラウドファンディングコンテスト申込者数【再掲】	5 人	15 人/年
意見募集に対する提出された意見数	422 件	累計 2,110 件
オンライン申請実施業務数	計 3 業務	計 20 業務
RPA 実施業務数	0 業務	計 30 業務